

すぎなみ大人“熟”してる？

Jukusiteru? TIMES'15

第7号

平成27年8月22日発行
発刊元：塾熟出版（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

大人のまちの楽しみ方

アソビバージョン+ONE

8月1日

アソビバージョンコース

受講生15名

当日の流れ

- ・前回の「夏遊び」実践を発表
- ・「遊び」プチレクチャー
- ・「夏遊び」企画再考・発表

第6回

もっと夏の日！～遊びの作戦会議②：遊びをふりかえる

▼ この夏はアソビの夏…？ズレを楽しめる夏に！

この2週間で、西荻お散歩(打ち上げも盛会！)、ぜいたくなお茶会(和装！)、立川花火大会(1人…TT)、朝ごはん会(8月1日講座前！)が行われた。発表後は、遊びについても一度考えるプチレクチャーに。広石・齊藤、両氏による「非日常・日常」「粋と野暮」など、遊ぶにあたってヒントになりそうなお話を聞いた。コンテンツ勝負の「遊び」は、集まるきっかけ・何かを始めるきっかけとして最適だが、それは非日常でしんどい。日常の中に遊びを組み込むこと、日常の場を創出する遊びとは何か、を考えるアプローチもあると同時に、日常を起点に少しずつ非日常という遊びにつなげる方法もあることも学んだ。そして、そうしたズレを受け入れる度量こそ「粋」である！ということも。遊びマインド、奥が深い！

感想集

- ・遊びを日常に入れることはゆとりを感じる。
- ・「私の日常は誰かの非日常」を基本にアソビにつなげる事の楽しさ、良いと思いました。
- ・夏は遊びまくっています！
- ・思いつきで話せるので思わぬ案(そして没になる案も)が出るものですね。
- ・いつも“アソビ”には誰かのに乗っかってるばかりなので、まさか自分が発信する側になるとは！また何が生まれるか楽しみ。
- ・走り回りたいです。
- ・みんなが同じ時間・場所に集まって遊ばずとも遊べる(つながれる)んだ…と思いました。
- ・いろいろな遊びを通じてコミュニケーションができる手法を学びました。

・日常と非日常、粋と野暮。今日もまた素敵な遊びのヒントをいただきました。

▼ まだまだ夏は続く…

そして、いよいよ次のアソビ計画開始！日程とメンバーを決めるのではなく、集合場所だけ決めてその時に集まった人たちが阿佐ヶ谷七夕祭りに行こうという昔ながらのゲリラ的なアソビ案も飛び出し、新たな境地に突入！

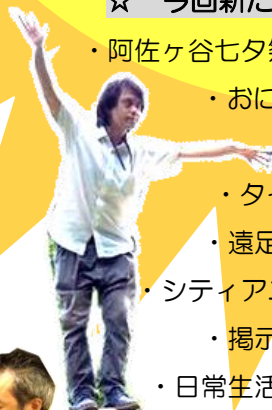
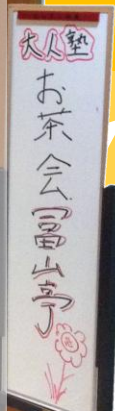
次回発表にも期待！（文：瀬山）

☆ 今回新たに提案された「夏遊び」(一部) ☆

- ・阿佐ヶ谷七夕祭りに連日ぶっつけ集合参加
 - ・おにぎりますか、おにぎりましょう
 - ・よこしまな飲み会
 - ・タイ料理を楽しむ会
 - ・遠足お菓子会
- ・シティアニマルハンター
 - ・掲示板で連歌
- ・日常生活しりとりし隊☆
 - ・テーマ写真を撮る！
 - ・八王子花火



上：「西荻お散歩」 fear.長谷川さん
下：「朝ごはん会」 @蚕糸の森公園



上：1日講座終了後に行われた「肝試さない」

だがしや楽校deワクワク大作戦 ～ゆるく楽しく地域とつながろう～

第6回 自分みせと地域行事を考える

だがしや楽校コース

8月8日 参加者22名

今回の日直：佐々木さん



杉七小ではじめてのだがしや楽校を終え、8月からは新ステージ！谷原さんの提案により、今回から「日直制」がスタート。講座の中で出た意見をまとめたり、主体的に運営を引っ張る役だ。次回の日直はその回の日直が指名する。日直によって、講座の雰囲気や進み具合はどう変わっていくだろうか？お楽しみに！

今回のテーマは、「だがしや楽校 in 杉七小」のふりかえり。まずは諸橋さん、谷原さんが編集した、準備～当日までの様子をまとめた素晴らしいスライドショーを鑑賞。受講生の皆さんの、真剣かつ楽しそうな表情が印象的だった。だがしや店長佐々木さんと、大変お世話になった杉七小の守田副校長先生からもコメントが。受講生のふりかえりと一緒に、一部をご紹介します。

だがしや楽校 in 杉七小をふりかえって



魚釣りチーム

- ・時間制限の勝負にしたら、子どもたちは熱中！声かけのタイミングも素晴らしかった。
- ・布の魚を作る過程も伝えたい。

杉七小：守田副校長先生

- ・いろいろな事情を抱えた保護者や、通知表を見て落ち込んでいた子ども笑顔になっていたのが、とても良かった。
- ・大人たちが、子どもたちの様子を見ながら臨機応変にルールを変えたりしていた。こういうやりとりが、子どもの自由な発想を生むのかな～、と感じました

フェイスペイントチーム

- ・最初は子どもたちも遠慮がちだったが、ネコ耳をつけたことで、ヒゲを描いたりだんだん大胆に…。
- ・学校という安全な場所で、子どもたちが知らない大人と一緒に遊べたということがとても良かった。



だがしや店長：佐々木さん

- ・まず感じたのが、皆がすごい技術者だということ
- ・あんなに子どもが来るとも、大人が頑張るとも思わなかった。素晴らしい！



アソビラボチーム

- ・缶に巻く紙に絵を描いたり、準備段階から皆楽しんでくれた。
- ・老若男女誰が勝つかわからないのがカンカン倒しの良いところ！
- ・ベーゴマは回せずに諦める子が多かった。得意な子は時間中ずっとベーゴマ！もう少し広いところでやれると良かったかも。



折り紙チーム

- ・予想に反して男の子も結構来た。作るのに少し時間がかかるのと、子どもたちが途切れなくて、閉店が少し大変だった。
- ・金魚だけを作り続けるのはいかなものか？今後の展開を思案中。



パターゴルフチーム

- ・子どもの目線に合わせることで、一緒になって遊ぶのが難しかった。だが、知らない大人と一緒に遊んだり、交流することは子どもにとってプラスになる！
- ・「だがしや」というネーミングが、誤解を生むことも。呼称は使い分ける必要があるのでは？

多く聞かれたのが、「子どもと遊んであげた」のではなく「子どもと一緒に遊んだ」、という言葉だ。そこには、自分自身が気軽に楽しみながら、かかわりをつくっていく「だがしや楽校」の感覚が、自然に浸透しているように思える。(文：遠藤)

◆ 大人塾に参加中のオトナたちに聞く (①出身 ②座右の銘・好きな言葉 ③自分のつながり PR)

ア 岩田 美穂(ペ子)

- ① 栃木県
- ② 人生は一箱のマッチに似ている。重大に扱うのは莫迦々々しい。重大に扱わなければ危険である。
- ③ 和裁やってまーす！

だ 齋藤 昭雄(アキちゃん)

- ① 群馬県桐生市
- ② 守・破・離
- ③ ・折り紙(「幸せを運ぶバラの風車」で活動中)
・陶芸
・B級グルメツアー

ア 三宮 恭代(ぐっさん)

- ① 中野区
- ② 天衣無縫
- ③ 何でもネタにします！大抵いつも元気です。

だ 佐々木 照彦(Teruさん)

- ① 京都
- ② 昔は“Why,Why,Why!”今は？
- ③ 家に居る(なにもせず)ことが大好きで、何かきっかけがないと外に出ないので、背中を押すのが必要です。